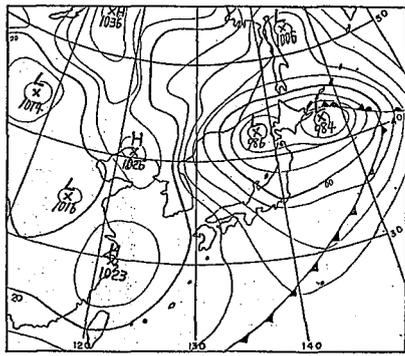


日本海西部における高波と天気図の型

舞鶴海洋気象台 松本 次男



図、昭和51年10月29日09時の地上天気図

日本海の高波は主に温帯低気圧、台風、寒候季の季節風、顕著な前線や低気圧の谷などの気象要素に伴って発生する。さらには上空の寒気の南下や下層暖気の北上による大気不安定に伴う突風や吹きおろし現象、海流や潮流などの流れ、沿岸や海底の地形変化などの影響によって一層強化される。

ここでは、昭和五十一年五十三年の三か年間に、日本海西部でかなり頻りに発生した高波の型を、前記の組合せにより分類した。そして、前に述べた三年間に発生した高波がたかびつて調べた。

表には天気図の型と現れ方を示し、その明らかなように、高波は寒候季を中心に十一月に多発するが、とくに春よりも秋に多発することが日本海の特徴といえる。

表 日本海西部における天気図の型別高波出現回数 (昭和51年~53年)

型別	低気圧		+冬型		冬型		+冬型		低気圧		台風		計
	日本海	三陸	三陸	南	前線	低気圧	日本海	大陸	前線	前線			
1	4	3	2	2	6	1	2	1	1	1	1	15	
2	4	3	2	2	6	1	2	1	1	1	1	11	
3	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
4	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
5	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
6	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
7	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
8	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
9	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
10	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
11	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
12	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
13	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
14	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
15	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
16	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	
17	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10	

ナス三十五〜四十度の寒気の移流が目安となる。じょう乱の前面における三千米以下の高さの暖気移流の北上も強風・高波を起す一要因となるが、必ずしも必要な条件とならない。

二、上空の偏西風による

水試ノート

ノリ養殖経営調査よりみた収益性の実態

調査の概要
ノリ養殖の経営実態については、本県の場合、殆ど把握されていない。しかし近年、全国的な量産化に伴う価格の伸び悩みなど、経営を圧迫する条件が増えつつあることはいかばかりである。

今後は拡張の余地も少なく、限られた生産規模で経営を維持することが必要な課題となっている。これからの経営問題を検討するため、昭和五十四年の漁期を対象として一応予備的に対象実態調査を行った。

この調査の実施は、水試と県漁連が共同し、姫路及び洲本農林水産事務所との協力をえて十組合二十四経営体の聞き取り調査を行った。

調査結果については、生産原価、生産性、収益性を中心にそれぞれ比較検討したが、いづれも地域差と個人差がみられる。

特に収益性に対する個人差の大きさが認められた。以下、収益性の実態(原因と内容)について若干検討してみたい。

収益性の要因
収益性の指標としては一人当りの損益額と、収益性指数(生産性、生産費指数、価格指数をとり収益性の相関を比較した。その結果によると、価値生産性との間に相関が最も強いといことが明らかになった。

なお、価値生産性は物的生産性(平均単価で示される)と平均単価が異なるが、平均単価がその価値生産性の高低に関与する大きな要素にもなっている。

収益性の内容
しかし、個別的にみた場合は、価値生産性(売上高)だけが必ずしも収益性に結びつくとは断定できない。

図2に、一人当り売上高と投下資本額のうち、流動資本、設備資本、利益、生産費用の割合を示した。この図は利益額の多い順にA〜Jまで並べたが、例えばC、Eのごとく売上高が低くても高収益を示した。又、G、Iのように売上高が大きいにもかかわらず利益の低い結果を示す例もある。

その原因は、この図でもみられるとおり資本回転率(売上高÷投下資本額)にあり、売上高に対する投下資本額の多少が収益性に作用している結果である。

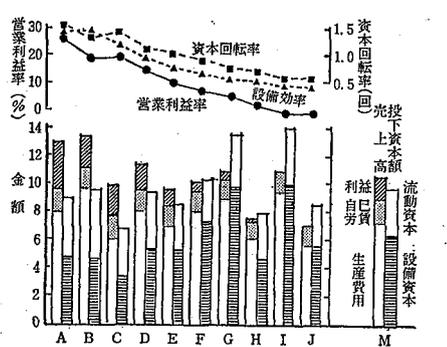


図2 収益性の内容とその比較

高と投下資本額の内容を組合別平均値と比較してある。この図は利益額の多い順にA〜Jまで並べたが、例えばC、Eのごとく売上高が低くても高収益を示した。又、G、Iのように売上高が大きいにもかかわらず利益の低い結果を示す例もある。

その原因は、この図でもみられるとおり資本回転率(売上高÷投下資本額)にあり、売上高に対する投下資本額の多少が収益性に作用している結果である。

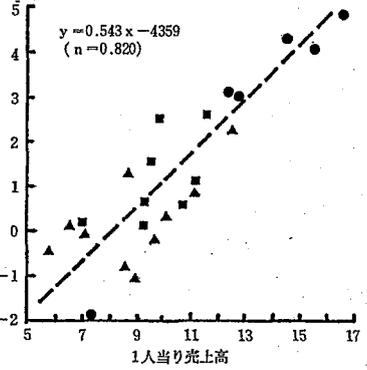


図1 一人当りの損益と売上高の関係

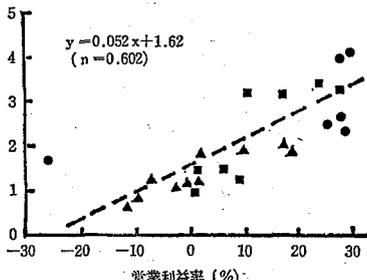


図3 設備効率と利益率の関係

二級小型船舶操縦士 指定講習会合格者

- 四月十五日より二十一日までの間に開催された二級小型船舶操縦士養成講習会に受講者二十七名が参加、最終日における修了テストに全員が参加合格した。合格者氏名次のとおり。
- 上田 靖史、上田 豊、上田 善房、上田 商人、上田 良一、大角 秀雄、岡田 敏一、岡田 登郎、岡田 則義、岡田 久、桂 一敏、桂 岸
 - 夫、桂岸久、桂志志、桂良、小林五男、小林末芳、小林広也、小林泰博、芝原武道、竹中敏夫、竹中公博、森敏春、森幸春、吉野日出長、山本末春

いすゞ マリンエンジン 高速への挑戦!

UM06BB1B

特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社 〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL (078) 811-1171(局)

